

大阪市立鯨江東小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

年度目標	評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	評価
<b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b>		
<b>全市共通目標（小・中学校）</b>		B
・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる割合を、前年度より減少させる。		
<b>学校園の年間目標</b>		
・年度末の校内調査の「学校生活は楽しいですか」の項目において、「はい・どちらかといえば楽しい」と答えた児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査の「学校ではすすんで挨拶をしていますか」の項目において、「はい」と答えた児童の割合を75%以上にする。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
<b>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校・教育環境の実現】</b>		B
児童の実態を把握し、いじめなどの早期発見に努め、その解消に取り組む。		
<b>指標</b> 月1回の生活指導部会において、いじめなどの事案について話し合い、本校のいじめ防止基本方針にのっとり、その解決に向けた学校環境づくりに取り組む。		
<b>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校・教育環境の実現】</b>		B
「学校のきまり・規則」を常に児童が意識し、実践するように日々指導を行う。		
<b>指標</b> 校内アンケートを実施し、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。		
<b>取組内容③【施策1 道徳心・社会性の育成】</b>		
自尊心の向上に取り組むと共に、互いに思いやる心を育て、暴力行為を行う児童の減少に努める。		
<b>指標</b> 児童に対する学校生活アンケートの「友だちとなかよくできていますか」の項目について「はい・どちらかといえばできている」と答える児童の割合を80%以上にする。		
<b>取組内容④【施策1 安全で安心できる学校・教育環境の実現】</b>		B
不登校児童対策において、保護者や関係機関と連携した取り組みを進め、不登校児童の割合を、前年度より減少させる。		
<b>指標</b> 児童の状況を適切に把握し、保護者や関係機関と連携して状況に応じた多様な取組みを行う。児童の状況把握をするための具体的な施策を図る。		
<b>取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】</b>		A
異学年によるグループ活動や行事を通して、お互いの気持ちの交流を図り、協力することの大切さを学ばせる。		
<b>指標</b> 児童に対する学校生活アンケートの「学校生活は楽しいですか」の項目について、「はい・どちらかといえば楽しい」と答える児童の割合を90%以上にする。		
<b>取組内容⑥【施策3 道徳心・社会性の育成】</b>		B
挨拶は人とのつながりがうまれることを児童に指導することを通して進んで挨拶ができる児童を育成する。		
<b>指標</b> 校内アンケートの「学校では進んで挨拶をしていますか」の項目において「はい」と答えた児童の割合を75%以上にする。校内アンケートの「地域の見守り隊の人」「学校へのお客様」への挨拶に関する項目において肯定的な回答をした児童の割合を90%以上にする。		

大阪市立鯨江東小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

年度目標	評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	評価
<b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b>		
<b>全市共通目標（小・中学校）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較しいずれの学年も前年度より向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の記録を前年度より増加させる。</li> <li>・全国体力・運動能力習慣調査において、体力合計点を前年度より1ポイント増加させる。</li> </ul> <b>学校園の年間目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力習慣調査において、課題である長座体前屈・ソフトボール投げの平均の記録を、前年度より向上させる。</li> <li>・校内児童アンケートにおいて自分の健康に関心をもつ項目の肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> </ul>	B	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	評価
<b>取組内容①</b> 教員の指導力向上と校内研修の支援の充実に取り組む。研究教科「算数」を重点に、算数指導の充実と進化に取り組む。ICT機器を活用し、プログラミング的な思考を育む教育の研修を行う。	A
<b>指標</b> 各教員は年間1回以上の研究授業を行い、指導力の向上を図る。 算数の授業における「授業はよくわかりましたか」のアンケート項目について、肯定的な回答の児童の割合を90%以上にする。ICT機器を活用した授業実践を推進する研修を2回以上もつ。	C
<b>取組内容②</b> 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実を図る。 年間を通して柔軟性や投げる力の向上にむけた取り組みを行う。子どもの体幹を鍛え、調整力を養うための取り組みの充実を図る。	B
<b>指標</b> 体育の授業や運動遊びで継続的な取り組みを全学年で行う。（ストレッチ・縄跳び・水泳・ドッヂボール等）課題のある柔軟性を高めるための取組みを全学年で行う。（体育科の準備体操に含む） 1・2学期に「長座体前屈」「ソフトボール投げ」の記録をとり、8割以上の児童が1学期の記録を上回るようにする。体育の授業の中で、用具・器具を用いた運動に取り組み、校内アンケートの「運動をするのは好きですか」の項目において肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。	B
<b>取組内容③</b> 「主体的・対話的で深い学び」を目指した学習に努める。	B
<b>指標</b> 研究教科の算数科を中心に、学習課題を明確にした問題解決的な学習を行う。 学習の中に、「自分で調べ考える」「小集団で話し合う」などの場を設定し、主体的で対話的な学びを推進する。算数の授業における「自分の考えをもつことができましたか」のアンケート項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80パーセント以上にする。	B
<b>取組内容④</b> 保健委員による週1回の清潔調べや歯みがき週間の実施、さらには「保健だより」などの活用を通して、清潔なハンカチやティッシュを持ち、手洗い、うがいなどの食後の口腔内衛生に取り組み、すすんで自分の健康を保とうとする習慣が身につくように指導する。	B
<b>指標</b> 保健委員による週1回の清潔調べで、「ハンカチ、ティッシュを持って来ている」と答える児童の割合をどの学級も80%以上にする。児童が自分の歯や口の中の健康に意識するような取り組みを工夫し、校内アンケートの「食後のうがいや歯みがきをすすんでできましたか」の項目について肯定的な回答を80%以上にする。歯科の治療受診率を昨年度より改善する。	A
<b>取組内容⑤</b> 食事の大切さに关心が持てるよう、食に関する指導を計画的に行う。	
<b>指標</b> 栄養教諭による授業を各学年、年2回行う。がんばりカードで「残さず食べた」と回答する児童の割合を85%以上にする。	